

総合大雄会病院で入院された患者様・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

【研究課題名】

慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する肺動脈内膜摘除術（PEA）の効果と身体機能の変化についての検討

【研究の意義と目的について】

慢性血栓塞栓性肺高血圧症は労作時低酸素血症が症状の一つの疾患です。慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断基準の一つとして、平均肺動脈圧 25mmHg 以上があります。今後、肺高血圧症治療ガイドラインが改訂されることに伴い、診断基準である平均肺動脈圧が引き下げられることが予想されます。本研究は、慢性血栓塞栓性肺高血圧症と診断され、当院で肺動脈内膜摘除術を行った患者様を対象に手術による効果と身体機能の変化について後方視的に調査することで、手術による肺動脈圧の変化と歩行距離や呼吸困難感の身体機能との関連性について検討し外科的治療の有用性、身体的機能予後を明らかにしていくことを目的としています。調査した結果をこれからの診断基準と比較した場合どのような違いがあるのか、これからの診断基準により治療を受けた場合とどのような違いがあるのかを比較するための基礎データを調査することも目的としています。

【研究の対象】

2013 年 5 月からの 3 年間で慢性血栓塞栓性肺高血圧症の精査・手術目的に入院された 50 名のうち肺動脈内膜摘除術非適応 5 名(バルーン肺動脈形成術:2 名,非慢性血栓塞栓性肺高血圧症:3 名)を除外した 45 名(平均年齢:58 歳,男性:16 名,女性:29 名)を対象としています。

【研究期間】

倫理委員会承認日～2025 年 3 月 31 日

【研究の方法】

患者様情報(例:年齢、性別、疾患、6 分間歩行距離、労作時の呼吸困難感、入院中の検査結果・治療内容、入院期間、転帰先など)を診療録より後方視的に調査します。研究に伴う追加の検査等はありません。

【個人情報について】

データを管理する際は、個人情報が外部に漏れないように厳重に管理いたします。また、本研究の研究結果は学会等で発表を予定していますが、個人が特定される形で情報が公開さ

れることはありません。

【本研究の利益相反】

研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【研究代表者】

総合大雄会病院 リハビリテーション科 理学療法士 前口大海

【除外の申し出・お問い合わせ先】

診療情報が本研究に用いられることについて、ご同意いただけない場合には、研究対象から除外させていただきますので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でもお申し出により研究の対象となる方に不利益が生じることはありません。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問合せください。

総合大雄会病院 リハビリテーション科 理学療法士 前口大海

〒492-8094 愛知県一宮市桜1丁目9番9号

TEL：0586-72-1211